

古 来の妙技の素晴らしさ

伝統芸能アウトリーチ事業～能ってなんだろう～



能の舞に真剣に見入る児童

7月1日、大石北小学校で「伝統芸能アウトリーチ事業」が行われました。これは、子どもたちに伝統芸能への関心を持ってもらうため、コミュニケーションセンターが行っている館外事業です。

今回、観世流能楽師で「キラリ☆あげおPR大使」の梅若泰志さんを講師に招き、クイズなども行われました。日本古来の妙技を目の当たりにし、参加した6年生133人は楽しく伝統芸能の素晴らしさを学びました。

熱 戦の連続に飛び交う声援

平成28年度小学生ドッジボール大会



ボールの行方に集中する選手たち

7月3日、上尾市民体育館で「平成28年度小学生ドッジボール大会」が開催され、市内の小学5・6年生で編成された78チーム1,088人が参加しました。

華麗なパス回しからの鋭い投球や、低い姿勢で素早くボールをかわす身のこなしなど、攻守が激しく入れ替わる熱戦の連続に会場は大盛り上がり。選手がボールを当てたりキャッチしたりするたびに、応援する保護者や引率の先生からは大きな声援が飛び交っていました。



聖学院大学の学生やアッピーと楽しく遊ぶ園児たち

大 学生やアッピーとの楽しい時間

アッピー応援隊事業

6月22日、紅花保育園で「情報賑わい発信ステーションあびつと」主催の「アッピー応援隊事業」が行われました。

この事業は、聖学院大学の学生やアッピーと園児の交流を目的としています。当日は、学生が園児たちに絵本の読み聞かせなどをした後、いよいよアッピーが登場。園児たちからは歓声とともに笑顔がはじけ、一緒にゲームを楽しんだり、記念撮影をしたりしました。

園児たちは「アッピーやお兄さん、お姉さん達と一緒に遊べて楽しかった」と笑顔で話し、思い出に残る一日になったようです。

朗 読と音楽で上尾の昔話も

ジョイフル・クラシック



ピアノ、オカリナとフランスの古楽器「セルパン」との三重奏

6月19日、文化センター小ホールで「ジョイフル・クラシック」ピアノとうたう象と小鳥のカーニバルが開催されました。

当日の曲目は「アメイジング・グレイス」「剣の舞」など聞き覚えのあるものや、昔話に由来する懐かしいものなど全13曲。約160人の聴衆は、美しい音色に魅了されました。

中でも、朗読と音楽で表現した氷川御神社に伝わる上尾の昔話「鍛太神宮と3人の童子」は大変素晴らしく、終演後には惜しめない拍手が送られました。

◆「広報あげお」は、各支所・出張所、JR上尾駅・北上尾駅の他市内の各公共施設、金融機関などに置いてあり、自由に持ち帰れます。

◆環境保全のため、市内の公共施設へのお出掛けは市内循環バス「ぐるっとくん」をご利用ください。